

**令和９年度に京都市立小・中・義務教育学校育成学級及び
総合支援学校において使用する教科書の採択について**

１ 教科書選定委員会日程

５月２２日	第１回教科書選定委員会 (教 育 長) 教科書選定委員会に諮問 (選定委員会) 調査研究グループに、最も適切な教科書について、 資料の収集・作成を求める。
(随時)	(調査研究グループ) 委員、専門委員による調査研究、検討
７月３日	第２回教科書選定委員会 (選定委員会) 答申案の審議、教育長に答申
７月１６日	(教 育 長) 答申に基づき、使用教科書について教育委員会に議案提出 (教育委員会) 使用教科書を採択

２ 令和９年度に小・中・義務教育学校育成学級、総合支援学校において使用する教科書

	種別	小学校育成学級 総合支援学校小学部	中学校育成学級 総合支援学校中学部	総合支援学校高等部
1	小学校使用文部科学省検定済教科書 (京都市立小・義務教育学校において 使用すると採択された教科書)	○	○	○
2	中学校使用文部科学省検定済教科書 (京都市立中・義務教育学校において 使用すると採択された教科書)		○	○
3	高等学校使用文部科学省検定済教科書 (京都市立高等学校において 使用すると採択された教科書)			○
4	小学校育成学級・総合支援学校 小学部使用文部科学省著作教科書	○	○	○
5	中学校育成学級・総合支援学校 中学部使用文部科学省著作教科書		○	○
6	小学校育成学級・総合支援学校 小学部使用一般図書	○	○	○
7	中学校育成学級・総合支援学校 中学部使用一般図書		○	○
8	総合支援学校高等部使用一般図書			○

※太枠内の教科用図書を京都市総合支援学校・育成学級教科書選定委員会で選定。

※表中の小学校・中学校にはそれぞれ義務教育学校（前期課程・後期課程）を含む。

3 選定冊数

校種等	一般図書
小学校・義務教育学校（前期課程） 育成学級及び総合支援学校小学部	4 8 0 点（うち新規選定は 1 7 冊）
中学校・義務教育学校（後期課程） 育成学級及び総合支援学校中学部	3 4 4 点（うち新規選定は 3 7 冊）
総合支援学校高等部	4 7 5 点（うち新規選定は 3 0 冊）

4 教科書採択に関わる基本方針

京都市立小・中・義務教育学校育成学級使用教科書及び総合支援学校使用教科書の採択に関わる基本方針について、以下の基準に最も適したものを、教科書選定委員会の答申を勘案し、採択するものとする。

なお、採択にあたっては、「教科書採択における公正確保の徹底及び採択期間等について（通知）」（令和 8 年 5 月 1 1 日付け）及び関連通知に基づき、適正に行うものとする。

- 1 学習指導要領の趣旨に則し、各教科の目標の達成に適したものであること。
- 2 京都市の学校教育の基本方針、教育課程の内容、構成、授業時数、編成・実施上の配慮事項等を示した「京都市立学校教育課程編成要領」に則したものであること。
- 3 京都市が目指す子ども像である「伝統や文化に学び、次代と自らの未来を創造する子ども」の育成に資するものであること。
- 4 一人一人の子どもの各教科で育むべき資質・能力の育成に向け、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養を目指した学習活動の充実に寄与するものであること。
- 5 基本的人権の尊重の視点に立ち、人権文化の担い手を育成するとともに、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うものであること。

5 教科書展示会について

展示期間	会場	閲覧者数
6 月 1 日（月） ～ 6 月 2 8 日（日）	京都市総合教育センター	1 5 人
	京都市右京中央図書館	1 0 人

【小】各種目選定の観点に基づいた教科の考え方と選定の理由
 （令和９年度に京都市立小学校・義務教育学校（前期課程）育成学級及び総合支援学校小学部
 において使用する教科書）

○「発達のためやす」Ａ～Ｃは、以下のとおり設定した。

Ａ：話しことばも書きことばも獲得していない発達の段階。

Ｂ：話しことばは獲得しているが、書きことばを獲得していない発達の段階。

Ｃ：話しことばも書きことばも獲得している発達の段階。

種目	選定の観点に基づいた教科の考え方と選定の理由
国語	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、日常生活に必要な身近な言葉が分かり、主体的に自分の思いを言葉や自分なりの方法で表すことや、その言葉の持つ良さを感じることを進めることができるような学習を進める上で適切な教科書を選定した。
書写	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、いろいろな筆記具に触れ、筆記具の正しい持ち方を知ったり、運筆など筆記具の扱いに慣れて、いろいろな線や文字を書いたりすることができるような活動をする中で、字を書くことへの興味・関心がもてるような教科書を選定した。
社会	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、自分の身の回りや日常生活に関わる社会的事象に興味・関心を持ち、地域社会の一員として人々とともに生きていくことの自覚を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
算数	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、身の回りの数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気づき、興味・関心を持ち、身の回りや日常生活に生かすことができるような教科書を選定した。
理科	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、身近な自然や生物に親しみ、自然の事物・現象について興味・関心を持つことや、自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
生活	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、自分自身の身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わり等について気付くとともに、自分のことに取り組もうとしたり、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
音楽	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、生活の中の音や音楽に興味・関心を持ち、感じたことを自分なりの方法で音楽表現するために必要な技術を身に付けることや、協働して音楽活動をする楽しさを感じ、様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
図画工作	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、表現及び鑑賞の活動を通して、造形に興味・関心を持ち、物に触れることや見ることによって、創造性や思考力を深め、自分なりの方法で表し方を工夫して作ることや、作り出す喜びを味わうとともに、感性を育み、豊かな情操を培う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
家庭	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境等について興味・関心を持ち、家族の一員としてよりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
保健	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、健康で安全な生活を送ることができるよう、生活や健康について興味・関心を高めるとともに、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための力を育成し、明るく豊かな生活を営む態度を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
外国語	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味・関心を持てるような内容であり、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
道徳	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の児童が、具体的な家庭生活や地域生活に即した内容で、自立心や自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心を育む学習を進める上で適切な教科書を選定した。

【中】各種目選定の観点に基づいた教科の考え方と選定の理由
 （令和９年度に京都市立中学校・義務教育学校（後期課程）育成学級及び総合支援学校中学部
 において使用する教科書）

○「発達のめやす」Ａ～Ｃは、以下のとおり設定した。

Ａ：話しことばも書きことばも獲得していない発達の段階。

Ｂ：話しことばは獲得しているが、書きことばを獲得していない発達の段階。

Ｃ：話しことばも書きことばも獲得している発達の段階。

種目	選定の観点に基づいた教科の考え方と選定の理由
国語	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、日常活動や社会活動に必要な国語について、興味・関心を持ち、国語を適切に使うことや、人とかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
書写	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、「書くこと」に興味を持ち、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、書く力を育むことができるような教科書を選定した。
社会	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、日常生活に関わる社会的事象に興味・関心を持ち、地域社会の一員として人々とともに生きていくことの大切さについての自覚を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
数学	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに興味・関心を持ち、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
理科	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、自然に親しみ、自然の事物・現象について興味・関心を持つとともに基本的な理解を図ることや、自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
音楽	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、表現及び鑑賞の活動を通して、音楽に興味・関心を持ち、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けられるもの、また、進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
美術	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、造形的なよさや面白さ、美しさなどを主体的に感じ取り、表したいことに合わせて教材や用具を使い、表し方を工夫する技術を身に付けられるもの、鑑賞教材が豊富で、自分の見方や感じ方を深めることができるもの、創造活動の喜びを味わい、豊かな情操を培う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
保健体育	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、自分の心と体に興味・関心を持てるような内容であり、日常の生活と健康のつながりが理解できる内容であるか、運動に関して、基本的な技能を身に付け、心と体を一体として捉え、生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
技術・家庭	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、生活や技術、職業に対し、興味・関心を持てる内容であり、家庭の中の自分の役割に気づき、日常生活の自立や職業生活の実現に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
外国語	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、身近な生活で見聞きする外国語や外国の文化に興味・関心を持てるような内容であり、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を養う学習を進める上で適切な教科書を選定した。
道徳	Ａ～Ｃのそれぞれの発達段階の生徒が、自立心や自律性、生命尊重の心を育てることや法やきまりの意義に関する理解を深めること、自らの将来の生き方を考え主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養うこと、日本の伝統や文化を尊重することができるような学習を進める上で適切な教科書を選定した。

【高】各種目選定の観点に基づいた教科の考え方と選定の理由
 （令和９年度に京都市立総合支援学校高等部において使用する教科書）

- 「発達のためやす」A～Cは、以下のとおり設定した。
- A：話しことばも書きことばも獲得していない発達の段階。
- B：話しことばは獲得しているが、書きことばを獲得していない発達の段階。
- C：話しことばも書きことばも獲得している発達の段階。

教科	選定の観点に基づいた教科の考え方と選定の理由
国語	A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、言語活動を通して、国語で理解し表現するために、個々の課題に合わせて文字やことば、文などについての興味関心を広げ、必要な知識や技能を獲得するための学習を進める上で適切な教科書を選定した。
社会	A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、個々の課題に合わせ、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、興味関心を広めるとともに、社会へのかかわり方を選択・判断する力や方法など、必要な知識を獲得し、それを適切に表現する力を育成する学習を進める上で適切な教科書を選定した。
数学	A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、個々の課題に合わせて数や図形、時間、計算などについての興味関心を広め、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理するために必要な学習を進める上で適切な教科書を選定した。
理科	A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、個々の課題に合わせて人の体、植物や動物、環境などについて基本的な理解を図り、自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養うための学習を進める上で適切な教科書を選定するという観点から選定した。
音楽	A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、個々の課題や興味関心に合わせて、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を養うための学習を進める上で適切な教科書を選定した。
美術	A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、個々の課題に合わせて、表現方法を工夫し、自分なりの方法で表すことや、造形的な活動を通して感性を豊かにし、豊かな情操を養う学習する上で適切な教科書を選定した。
保健体育	・A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、心と体を一体として捉え、豊かなスポーツライフを継続するための知識や技能を獲得する学習を進める上で適切な教科書を選定した。 ・A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、命の大切さや性、身体について学習する上で適切な教科書を選定した。
職業	・A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫するための知識や技能を獲得する上で適切な教科書を選定した。 ・職業学科の生徒が専門的な知識や技能を獲得する上で適切な教科書をした。
家庭	・A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身につけることや、家族や地域の人々とのかかわりを考え、家族の一員として、生活を工夫し考えようとする態度を養うための学習を進める上で適切な教科書を選定した。
外国語	A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、外国語英語についての興味関心を広げるとともに、外国語のコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力、主体的な態度を獲得する上で適切な教科書を選定した。

情報	A～Cのそれぞれの発達段階の生徒が、身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う学習を進めるうえで適切な教科書を選定した。
家政	職業学科の生徒が、家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活の質の向上と社会の発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を養う上で適切な教科書を選定した。
農業	職業学科の生徒が、農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を養う上で適切な教科書を選定した。
工業	職業学科の生徒が、工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を養う上で適切な教科書を選定した。
流通・サービス	職業学科の生徒が、流通・サービスの見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、流通業やサービス業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を養う上で適切な教科書を選定した。
福祉	職業学科の生徒が、福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を養う上で適切な教科書を選定した。
道徳	A～Cのそれぞれの発達段階の生徒にとって、自立した人間として他者と共によりよく生きるための道徳性を養うこと、主体的に社会形成に参画する意欲と態度を養うこと、人権を尊重し差別のない社会を実現しようとする態度を養うこと、伝統・文化を尊重し国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けることができ、また、青年期の特性を考慮して、健全な社会生活を営む上に必要な道徳心を高めるような内容の教科書を選定した。

育成学級及び総合支援学校において使用する文部科学省著作教科書冊数

区分	小学部			中学部		
	種目	種類数	点数	種目	種類数	点数
視覚障害者用	[点字版] 国語	1 種	23 点	[点字版] 国語	1 種	18 点
	社会	1	24	社会(地理的分野)	1	12
	算数	1	56	社会(歴史的分野)	1	10
	理科	1	24	社会(公民的分野)	1	12
	英語	1	8	数学	1	31
	道德	1	12	理科	1	31
				英語	1	20
				道德	1	6
小計		6 種	147 点		8 種	140 点

知的障害者用	国語	1 種	3 点	国語	1 種	2 点
	算数	1	4	社会	1	2
	生活	1	3	数学	1	2
	音楽	1	3	理科	1	2
				音楽	1	2
				職業・家庭	1	2
小計		4 種	13 点		6 種	12 点

令和 9 年度使用 京都市総合支援学校・育成学級教科書選定委員会名簿

委員

居澤 正輝	
伊藤 陽一	
大岡 文枝	
鎌田 真行	
川添 泰世	(保護者)
北福 浩章	
国本 龍一	
小谷 由佳子	(保護者)
佐藤 克敏	(学識経験者)
高橋 裕美	
種田 八千代	
中山 聡	
長谷川 亜美	
真下 雅行	

専門委員

木村 俊晴
坂本 将一
澤井 由希奈
末吉 勝洋
白 順子
横山 都子
與那嶺 樹

(五十音順)